

岡山県医師会消化管検診研究会講演会

日時:令和元年8月31日(土)14:00~17:00

場所:岡山県医師会館 三木記念ホール

開会挨拶 岡山県医師会 会長 松山 正春

講演 I 14:05~15:20 (質疑応答を含む)

演題「水戸市の対策型胃内視鏡検診の取り組みと目指しているもの」

講師:茨城県メディカルセンター

消化器・内視鏡センター長 齋藤 洋子 先生

対策型がん検診は、有効性の確立した手法を用いて正しく行うことで死亡率減少効果を期待した公共的な施策として実施されるので、地域住民に不利益がないように、内視鏡検診一次医療機関における診断能の均一化が求められる。この作業がいうまでもなく精度管理体制の構築である。

水戸市では 2011 年から基準撮影法を定め胃がんリスク層別化検査を併用し、全例ダブルチェックとした内視鏡検診を開始した。また、2013 年から診断名とは別に背景胃粘膜を記載し、その診断は「胃炎の京都分類」を参考にしている。2016 年からは対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアルに準じ、「1 胃がんなし (*H.pylori* 未感染)」、「1 胃がんなし (*H.pylori* 感染胃炎)」と背景粘膜別に記載している。*H.pylori* 感染胃炎の割合は年齢階級別で違い、今後は若年層に対しては血清を用いた胃がんリスク層別化検査の有効活用、高齢層に対しては体位変換が不要の内視鏡検診の普及が望まれる。

講演 II 15:30~16:45 (質疑応答を含む)

演題「対策型内視鏡検診を含めた胃がん検診における基準化の重要性」

講師:公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター

消化器内科 部長 小田 丈二 先生

- ・対策型内視鏡検診における撮影の基準化の重要性について
- ・内視鏡検診の問題点について
- ・X 線検診の必要性について

※日医生涯教育講座単位：3 単位

講演 I 11 予防と保健 0.5 単位 12 地域医療 1 単位

講演 II 7 医療の質と安全 1 単位 11 予防と保健 0.5 単位

生涯教育チケット帳を持参お願いいたします。

また、日本内科学会認定総合内科専門医更新の 2 単位 (予定) が認定されます。

※本講演会は、「岡山県消化管精密検診施設」更新に関わる講演会 (年 1 回出席) に認定されていますので消化管精密検診委嘱施設の方は聴講をお願いします。

会員施設のコ・メディカルの方も奮ってご参加下さい。講演 I、講演 II とも講話後、質疑応答を受けます。

※託児希望の方は岡山県医師会 HP より生涯教育⇒託児申込書をダウンロードをして 8 月 23 日 (金) まで FAX でお申込をお願いします。FAX 086-251-6622

災害、天候不順の場合、中止することがあります。その場合はガイダンスにてお知らせいたしますので 086-230-7180 へお掛けください。